



志岐小通信 麟泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和5年度 9月20日 第5号 文責：栗原 克浩

大輪の花を咲かせる！ ～成果を生む2学期～



1学期は児童育成のための土台を作りました。そして、いよいよ成果を上げる2学期です。「花づくり」に例えると、1学期は種をまき芽が出ます。2学期は茎が伸び花が咲きます。1年間で最も充実する2学期に、大きな成果を生みたいと思います。

では、どうしたら成果が上がるのでしょうか？各々が異なることに力を入れても成果は上がりません。全校児童、職員で同じことにみんなで取り組むことで成果が生まれます。

そこで、2学期の核となる取組「4つのプロジェクト」を紹介します。夏休みに1学期の教育評価をもとに職員間で協議し決定しました。この内容については、2学期の始業式で、各プロジェクトの職員が児童に説明しました。

4つのプロジェクト ～身に付けさせたい力の育成～

【豊かな心の育成】優プロジェクト	【確かな学力の育成】賢プロジェクト
◎「知っている」から「している」へ ①あいさつ →(低)相手を見つけて、明るいあいさつ (高)時と場を考えて明るいあいさつ ②廊下は右側を歩く ③はき物をそろえる	◎みんなでのびる2学期にしよう！ ①学び合いにはいいことがいっぱい →友達の考えで自分の考えが良くなる等 ②学び合いに大事なこと →聴く・伝える・自分のものにする等 ③問いを持つ
【たくましい心身の育成】逞プロジェクト	【望ましい環境づくり】絆プロジェクト
◎パワーアップ大作戦 ①体の柔らかさ →業間のストレッチ運動 ②進んで運動 →外遊び・持久走大会 ③食べ残しゼロ →好き嫌いなく、残さず給食を食べる	①SDGs →みんながくらしやすい地球を 「～ばなしをなくそう」 ・水や電気を大切に ②美しい志岐小学校 →「一人一鉢」「ゴミ拾い・分別」 「今月の歌」

「バランスと優先順位」をつけて ～感染症と熱中症対策～

児童の「健康・安全」は学校教育で確実に保障すべきことです。当面する病気について、感染症（コロナ・インフル）対策と熱中症対策が真逆の対応であり苦慮しますが、対応のバランスと現状から優先順位をつけて、適切に取り組んでいきたいと思ひます。

【学校教育目標】

「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと
笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に積極的に貢献する人材の育成～

この夏SDGsを実感 ～自分にできることを～

「プール開放・親子美化作業」等、児童の健全育成のための夏休み中の献身的な活動に、心より感謝申し上げます。9日間のプール開放においては、毎日多くの利用者があり、児童の賑やかな歓声が職員室まで響いていました。PTAの皆様におかれましては、休日や夜間の救命講習と大変暑い中の監視活動等、本当にご苦労様でした。お陰様で、長い夏休みに時間を持て余しがちになる児童への楽しみの提供ができました。高温のため冷房の効いた室内で長い時間を過ごしがちな児童にとって、健康増進の面でも効果があったと思います。

また、親子美化作業においては、夏期の本当によく茂る雑草において、限られた職員数では環境整備に限界がある中に、親子総出で除草に取り組んでいただき、校庭や農園が驚くほど美しくなりました。お陰様で、2学期から安全で気持ちの良い学校生活が実現できます。



【10月の行事予定】

1	日	
2	月	読み聞かせ・歴史講話
3	火	クラブ活動
4	水	陸上記録会（5・6年午前）
5	木	
6	金	陸上記録会予備日
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	漢計がんばり週間
11	水	職員会議
12	木	環境学習（4年）毛筆指導（6年）
13	金	毛筆指導（5年）
14	土	
15	日	
16	月	読聞かせ（全学年）
17	火	
18	水	
19	木	修学旅行（6年） 認知症サポーター一講座（3年）
20	金	修学旅行（6年）
21	土	
22	日	
23	月	読聞かせ（低）毛筆指導（4年）
24	火	毛筆指導（3年）
25	水	
26	木	
27	金	児童朝会
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

【自分にできることを】～環境保全～



今夏も地球温暖化に起因する甚大な自然災害が発生しました。「ハワイやカナダでの広範囲の町を焼き尽くした山火事」、「本来涼しいはずの北日

本で数日間も日本一を記録した異常高温」、「たった一日で一ヶ月分相当の雨が同じ場所で降り続く線状降水帯」、「家屋倒壊等の甚大な被害をもたらす930h p級の台風」等。災害の度に、報道を通して「初めての経験」「何十年に一度」という言葉を耳にします。つまり、極端に大きな災害が常態化したとい

うことだと思っています。環境保全は、地球規模のとても大きな問題であり、たった一人の力は微力です。だから、何もやらないのではなく、地球上に住む一人一人の人間が「自分のできることをやる」事が重要だと思っています。学校においても、環境保持のための行動化に向けた取組を続けます。